| | | | |
|---|---|---|---|
| 3類型 | 観光資源 | 番号 | ８－26－015 |
| 地域資源名 | 長崎台場跡魚見岳台場跡、長崎台場跡四郎ヶ島台場跡、小菅修船場跡、グラバー園 | 認定日 | 平成27年2月2日 |
| 地　域 | 長崎県長崎市 | 所管省庁 | 国土交通省・経済産業省 |

# 事業名：“明治日本の産業革命遺産群”と“長崎台場跡”を活用した、観光丸によるヘリテージツーリズム商品の開発と販路開拓


会社名　：　やまさ海運株式会社　　所在地　：　長崎県長崎市古町１番地

連絡先　：　TEL：095－822－5002
FAX：095－822－5243　　ＨＰ　：　http://www.gunkan-jima.net


## 事業概要（新たな活用の視点）

「明治日本の産業革命遺産群」に含まれる長崎関連の施設等を活用し、幕末期オランダ国王より江戸幕府に献上された“観光丸”の復元船を使った、テーマ性があり事前学習を盛り込んだ、長崎の新たなヘリテージツーリズム商品（着地型産業観光商品）「専門ガイド付き“明治日本の産業革命遺産群”と“長崎台場”巡りクルーズ」の開発と販路開拓を行う。付加価値を高めるため、ストーリーの開発や蓄積等の発掘及び高度で専門的な技術を持った優良なガイドの養成等を行う。

## 売れる商品づくり（競争力、市場性、販路）

◆競争力

現在、当社が運行する、観光丸での“長崎港巡り”は一般的な物見遊山的な観光である。これに対して、本商品は、「明治日本の産業革命遺産」等のテーマ性を持ち専門ガイドの案内や事前学習等を盛り込んだ、高付加価値の顧客満足度の高い、今までにない長崎の新しい観光メニューである。産業観光やヘリテージツーリズムに関心のある観光客や修学旅行等のニーズに対応した着地型産業観光商品である。

◆市場性

JTBの調査では、約6割の人が「日本の世界遺産観光を目的とした旅行をした」や「今後予定している」が4割以上。平成26年6月に世界遺産登録された「富岡製糸場」の観光客数は、年間3倍になると推計。また、軍艦島上陸クルーズは、世界遺産登録申請決定後、参加者が急増中。さらに、全国自治体の9割が産業観光に取り組んでいる。この様に、一般観光市場においては、今後更なるヘリテージーツーリズムを含む産業観光への関心の高まりに伴い需要拡大が見込まれる。現在長崎の修学旅行においては、20万人以上の中高校生が班別研修を実施しており、今後拡大基調の見通しであり、修学旅行市場においても、本商品に対する需要の増加が見込まれる。

◆販路

一般観光客への販売では、当社ホームページでのダイレクト販売、長崎国際観光コンベンション協会の旅行商品サイトや季刊誌「長崎さるく」での販売、市内ホテル旅館と連携した販売、旅行会社での商品化、軍艦島上陸クルーズ参加者に対する販売等に取り組む。また修学旅行市場においては、旅行会社の修学旅行販売部門との連携による販売のほか、長崎県観光連盟や長崎国際観光コンベンション協会等と連携した「長崎修学旅行説明会」等で旅行会社や教職員へのPRを行う。さらに、外国人観光客への販売にも取り組む。

## 地域資源における関係事業者との連携

長崎国際観光コンベンション協会や地元タクシー会社との連携によるプラン開発。ストーリー開発及び蓄積等の発掘は、長崎史談会、NPO法人長崎歴史文化振興協議会、長崎歴史文化博物館、佐賀徴古館、長崎大学や佐賀大学の学識経験者等の指導支援により開発、発掘。また、長崎さるくガイド等と連携して専門ガイドを養成。販売・PRでは、長崎県観光連盟、長崎国際観光コンベンション協会、長崎市のホテル旅館等と連携した新商品のPR，販売を推進。また、長崎県中小企業団体中央会、長崎商工会議所等の協力を得てホームページのリンクによる新商品のPRを行う。